

プログラム 大会1日目 3月7日(土)

第1会場(福岡国際会議場3階 メインホール)

大会長講演

9:00~9:50

座長：東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一

CL For precious life：がんに関わる薬局薬剤師・病院薬剤師のコラボレーション、患者とか奏でる新しい旋律

総合メディカル株式会社 下川友香理

教育講演

10:00~11:00

座長：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部 松井 礼子

EL 令和8年度診療報酬改定について

厚生労働省 保険局 医療課 薬剤管理官 清原 宏真

理事長講演

11:10~12:00

座長：一般社団法人薬局共創未来人財育成機構 加藤 裕芳

PL 理事長職としての4年間の歩みと今後の学会活動の方向性

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 理事長/  
国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部 薬剤部長 近藤 直樹

ランチョンセミナー (LS1-1)

12:20~13:20

がん治療における患者との協奏～薬薬連携、薬剤師外来を通じた薬剤師のつながり～

座長：大分大学医学部附属病院 薬剤部 伊東 弘樹  
株式会社大賀薬局 九大病院東門前店 汐待 加織

マツモトキヨシ千駄堀店 安藤 茉央

大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子

共催：日本化薬株式会社

## 特別講演1

13:40～14:40

座長：一般社団法人北海道薬剤師会 遠藤 一司

- SP1 固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望 - SCRUM & CIRCULATE-Japanの成果から紐解く  
国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 副院長 (経営担当)  
国際臨床腫瘍科 科長/医薬品開発推進部門 部門長/消化管内科 医長 吉野 孝之

## シンポジウム7

14:50～16:20

### JASPO × JASCC 合同シンポジウム

がん患者を支える知と技 ～ 支持療法・緩和治療の最新知見を臨床へ届ける ～

オーガナイザー兼座長：東京薬科大学薬学部 臨床薬理学教室 横川 貴志  
座長：北海道医療センター 薬剤部 高田 慎也

- S7-1 “嘔吐ゼロ時代”に問われる悪心対策 ～制吐療法の今と未来展望～  
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 飯原 大稔
- S7-2 末梢神経障害に挑む ～予防から治療までの知と技～  
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 中島 寿久
- S7-3 疼痛治療の最前線 ～変わりゆくがん疼痛の治療戦略～  
がん研究会有明病院 緩和治療科 松本 禎久

第2会場 (福岡国際会議場5階 501)

シンポジウム1

9:00~10:30

聴く力・伝える力：がん患者さんのかけがえのない人生 (precious life) を支えるために身に  
着きたいコミュニケーションスキル

オーガナイザー兼座長：滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀  
大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子

S1-1 がん領域で薬剤師に必要なコミュニケーションスキル

東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子

S1-2 緩和ケアにおける薬剤師のコミュニケーションの実践  
—患者を支え、薬剤師を照らす光明—

国民健康保険 小松市民病院 薬剤科 桂 英之

S1-3 「こどもを主語に」がんのこどもと家族に向き合う薬剤師のコミュニケーション

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀

S1-4 がん患者との対話のあり方を考察する：臨床心理士の視点から

国立病院機構 九州がんセンター サイコオンコロジー科 白石 恵子

ランチョンセミナー (LS1-2)

12:20~13:20

多職種で支える薬剤性肺障害のマネジメント～ADC製剤におけるILDマネジメントを中心に～

座長：宮崎大学医学部附属病院 副病院長/ 薬剤部 教授・薬剤部長 池田 龍二

エンハーツにおけるILDマネジメント体制の構築と運用について

日本医科大学付属病院 薬剤部・化学療法科 久保村 優

エンハーツのILDマネジメントのTips

～早期発見のためのベースライン測定、多職種連携の重要性～

東京慈恵会医科大学 内科学講座 呼吸器内科 講師 和久井 大

共催：第一三共株式会社

## シンポジウム 8

14:50～16:20

### Bridge プロジェクト presents 架け橋となる薬剤師の育成と実践

・ ・ 見えてきた ICI マネジメントと地域連携へのロードマップ ・ ・

オーガナイザー兼座長：東京薬科大学薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一  
株式会社メディカルファーマシー ミキ薬局田端店 長久保久仁子

S8-1 日本臨床腫瘍薬学会：  
免疫チェックポイント阻害薬マネージメント教育プログラム「Bridge セミナー」  
開催の経緯

東京薬科大学薬学部 臨床薬理学教室 鈴木 賢一

S8-2 Bridge セミナーの歩みとその反響  
～架け橋をつくる薬剤師の育成を目指して～

九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦

S8-3 地域連携を見据えた irAE マネジメントの出発点  
～薬剤師に求められる認識と教育的アプローチ～

株式会社 望星薬局 久田 健登

S8-4 地域で活かす irAE マネジメントの実践力  
－薬剤師の即応力と臨床判断力の習得－

福岡大学病院 薬剤部 柿本 秀樹

S8-5 Bridge で得た知識と経験の現場での実践

株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 東大店 清水 潤一

## イブニングセミナー (ES1-2)

16:40～17:40

座長：倉敷成人病センター 副院長、診療支援部長 今村 牧夫

子宮体がん治療における免疫チェックポイント阻害薬について

久留米大学医学部産科婦人科学教室 西尾 真

共催：アストラゼネカ株式会社

第3会場 (福岡国際会議場5階 502 + 503)

シンポジウム2

9:00~10:30

JASPO 海外派遣事業 過去 (2022-2025年度) とこれからの未来

オーガナイザー兼座長: 国立病院機構 九州がんセンター 久松 大祐  
 広島大学病院 本永 正矩

S2-1 JASPOの海外研修について

国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 真也

S2-2 Building the Next Generation of Pharmacy Practice: The JASPO-MSK Exchange Program

Memorial Sloan Kettering Cancer Center Lisa Modelevsky

S2-3 海外研修報告: 米国における薬剤師教育と専門性の現状

公益財団法人 がん研究会有明病院 青山 剛

S2-4 米国PGY2レジデンシー制度に学ぶ専門薬剤師育成と臨床実践

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 山下花南恵

S2-5 地域がん医療の均てん化を目指して: 米国NCODAの標準化モデルと日本への応用

公益社団法人 地域医療振興協会 石岡第一病院 浮谷 聡

S2-6 海外研修へ参加してその後

株式会社ファーマシィ 山根 孝太

S2-7 米国研修の経験に基づいた薬局での外来がん治療専門薬剤師の教育体制の設計と薬局間・医療機関連携の取り組みについて

アイン薬局 獨協医大店 五十嵐 爽

S2-8 これからの海外派遣研修者に寄せる期待

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 森本 麻友

一般演題1

11:00~11:50

その他①

座長: 福岡病院 薬剤科 五十嵐保陽  
 株式会社ミズ 溝上薬局 八坂 瑞臣

O1-1 外来がん薬物療法患者における医療用アプリの受容性調査

茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科 大神 正宏

- 1-2 薬局薬剤師を対象としたAI模擬患者によるがん薬物療法副作用管理能力の自己評価変化：パイロット研究  
クオール株式会社 薬局事業第六本部第一事業部 三星 勇輝
- 1-3 リボヌクレオチドレダクターゼ阻害剤を用いたゲムシタピン耐性の克服  
宮崎大学医学部附属病院薬剤部 南 謙太郎
- 1-4 抗がん薬曝露の実態と対策 -単施設スプール報告の解析-  
埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター 薬剤部 武井 大輔
- 1-5 腫瘍微小環境応答性を備えた腫瘍標的型ファージDDS抗がん剤  
自治医科大学 医学部 細菌学部門 崔 龍洙

## ランチョンセミナー (LS1-3)

12:20～13:20

座長：九州大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長 内田まよこ

病院薬剤師と保険薬局薬剤師による外来がん患者支援の最前線  
～治療サポートと生活に寄り添う連携のかたち～

九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦

共催：日本調剤株式会社

## 一般演題5

13:40～14:40

### 調剤・処方監査・リスクマネジメント

座長：市立池田病院 田中 亮  
帝京大学ちば総合医療センター 飯塚 雄次

- 5-1 がん化学療法レジメンオーダーサポートシステム CROSSY への検査値チェック機能搭載による安全性の向上  
神戸市立医療センター西市民病院 薬剤部 住吉 佑介
- 5-2 清掃時における分解薬使用の曝露リスク低減効果 ～多施設共同研究調査～  
国立病院機構信州上田医療センター 薬剤部 谷 健太郎
- 5-3 抗がん薬の職業性曝露対策の最適化に向けた取り組み  
～閉鎖式薬物移送システム採用変更等・その前後での職員の意識行動調査～  
鈴鹿中央総合病院 薬剤部 高橋 智洋
- 5-4 医薬品トレーサビリティシステムを活用した抗がん薬の薬品管理業務に対するリスク低減  
市立東大阪医療センター 村地 康

- 05-5 当院におけるCSTD導入下での化学療法調製室および化学療法室における抗がん剤暴露調査

岩手県立久慈病院 薬剤科 黒田 祥嗣

- 05-6 バイオマーカーを考慮したレジメン監査と、その妥当性についての調査

一部事務組合下北医療センター むつ総合病院 薬剤科 萩野 晃生

## シンポジウム9

14:50～16:20

### JASPO 症例カンファレンス！「がん薬剤師外来」で求められる臨床スキル

～患者の治療を支援するために～

オーガナイザー兼座長：神奈川県警友会 けいゆう病院 小澤 有輝  
がん研究会 有明病院 薬剤部 谷川 大夢

- S9-1 JASPO アンケート結果から読み解く！  
外来がん治療部門における薬剤師への期待と今後の展望

国立国府台医療センター 薬剤部 高橋 郷

- S9-2 血液検査結果がない！医師のカルテがない！がん薬剤師外来で必要なスキル

公益財団法人がん研究会 有明病院 薬剤部 川上 和宜

- S9-3 抗がん薬投与するたびに吐き気があり辛いです。私治療続けられますか？  
～がん専門薬剤師の薬学的視点～

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 藤井 宏典

- S9-4 足が痛くて歩けません、薬の専門家としてどうしたらいいか教えてください。  
～がん専門薬剤師の薬学的視点～

群馬県立がんセンター 薬剤部 新井 隆広

## 第4会場 (福岡国際会議場4階 409+410)

## シンポジウム3

9:00~10:30

地域連携のために薬剤師が奏でる多職種連携の旋律～連携の輪に溶け込む人材の育成～

オーガナイザー兼座長：有限会社キムラ薬局

中島 美紀

座長：霧島市立医師会医療センター

岸本 真

S3-1 地域緩和ケア連携調整員研修で寄せられる多職種からの期待

国立がん研究センターがん対策研究所

佐野 智望

S3-2 薬局薬剤師の立場から

～地域における薬剤師の存在感と“師”としての責任～

あずまみまもり薬局 門下 鉄也

S3-3 在宅支援診療所（在支診）薬剤師の立場から

～地域で巻き込む多職種連携に強い薬局の増やし方～

医療法人秋本クリニック 地域医療連携室 笠原 庸子

S3-4 病院薬剤師の立場から

～地域薬剤師の育成と連携に向けた取り組みから院内・地域多職種の連携へ～

霧島市立医師会医療センター 薬剤部 岸本 真

## 一般演題2

11:00~12:00

がん薬物療法（支持療法なども含む）症例報告を除く①

座長：医療法人社団 善仁会 小山記念病院 花香 淳一

北海道医療センター 薬剤部

高田 慎也

O2-1 Cochrane の方法に基づく進展型小細胞肺癌一次治療のネットワークメタアナリシスとシステムティックレビュー

東京薬科大学 薬学部／昭和医科大学 薬学部／昭和医科大学 臨床疫学研究所 市村 丈典

O2-2 婦人科癌患者のPARP阻害薬における貧血発症要因に関するレトロスペクティブ研究

中津市立中津市民病院 診療部 薬剤科／

岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室 上ノ段友里

O2-3 長崎原爆病院外来治療室における乳腺外科患者への薬剤師の介入

日本赤十字社長崎原爆病院 原田 周平

O2-4 ドセタキセル±ラムシルマブ療法における好中球減少発現リスク因子の検討

聖隷浜松病院 薬剤部 海野 瑞紀

- 2-5 保険薬局におけるフルキンチニブ服用患者に対する服薬支援と有害事象発現の実態調査

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 塩原店 本村 真悟

- 2-6 ベースラインの腎機能障害がカルボプラチン+ペメトレキセド誘発性重症好中球減少症に与える影響

北海道大学病院 薬剤部 谷口 理

## ランチョンセミナー (LS1-4)

12:20~13:20

座長：京都大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 野村 久祥

Which Would You Choose in Antiemetic Therapy?

～持続性と費用対効果の接点に迫る～

北里大学病院 薬剤部 係長 稲野 寛

共催：大鵬薬品工業株式会社

## 一般演題6

13:40~14:40

がん薬物療法（支持療法なども含む）症例報告を除く②

座長：中津市立中津市民病院 診断部 薬剤科 上ノ段友里  
社会医療法人同心会古賀総合病院 薬剤部 長渡 亜子

- 6-1 悪性腫瘍患者に併発した末梢型深部静脈血栓症における直接経口抗凝固薬の有効性と安全性の検討：単施設後方視的研究

金沢医科大学病院 薬剤部 石田 有希

- 6-2 肝細胞癌患者におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の蛋白尿に対するSGLT2阻害薬の予防効果

奈良県総合医療センター 薬剤部/神戸大学医学部附属病院 薬剤部 堀 智貴

- 6-3 胃癌のパクリタキセル/ナブパクリタキセル+ラムシルマブ療法による重症好中球減少症に及ぼすリスク因子の検討

愛知県がんセンター 薬剤部 前田 章光

- 6-4 褐色細胞腫患者における制吐療法の安全性と薬剤選択に関する検討

長崎大学病院 薬剤部 赤城 友章

- 6-5 当院におけるチソツマブ ベドチンの使用実態調査

埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター 薬剤部 直井 美萌

- 6-6 中等度催吐性リスクリジメンにおける支持療法統一化の臨床的有益性

大阪市立十三市民病院 薬剤部 石坂 峻

## シンポジウム10

14:50～16:20

### 続・がん薬物療法に伴う血管外漏出マネジメント

～「次に」むけて新たな報告はどのくらい出てきたか？「次の」ために何をするべきか？～

オーガナイザー兼座長：国立がん研究センター東病院 龍島 靖明

オーガナイザー：国立病院機構 横浜医療センター 小井土啓一

座長：湘南医療大学 薬学部 佐藤 淳也

S10-1 がん薬物療法に伴う血管外漏出時の対応に関する調査

国立病院機構 三重病院 薬剤科 宮澤 憲治

S10-2 ガイドライン改定を実臨床で検証する：血管外漏出ガイドライン2023年版の妥当性と課題

国立健康危機管理研究機構 医療情報管理部 小室 雅人

S10-3 病院薬剤師からの挑戦：抗がん薬血管外漏出の動物モデル研究

明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 臨床薬学研究室 杉 富行

## イブニングセミナー (ES1-4)

16:40～17:40

座長：熊本大学病院 薬剤部 教授 薬剤部長 城野 博史

高齢がん患者のポリファーマシー対策と薬剤師の可能性

東京大学医学部附属病院 薬剤部 白根 達彦

共催：総合メディカル株式会社

第5会場 (福岡国際会議場4階 411 + 412)

シンポジウム4

9:00~10:30

よりよい職場環境構築のための抗がん薬曝露対策社会に向けた取り組み

オーガナイザー兼座長：京都大学医学部附属病院 薬剤部 野村 久祥  
 国立病院機構 横浜医療センター 薬剤部 小井土啓一

- S4-1 職業性曝露のない職場環境に向けて薬剤師のミッションとビジョン  
 京都大学医学部附属病院 薬剤部 野村 久祥
- S4-2 曝露対策 JASPOとしての取り組み  
 ~薬剤師でもできること、薬剤師がやるべきこと、薬剤師しかできないこと~  
 埼玉県立がんセンター 薬剤部 中山 季昭
- S4-3 曝露研究最近のエビデンス  
 公益財団法人 がん研究会有明病院 薬剤部 谷川 大夢
- S4-4 抗がん剤曝露と小児がん  
 国立病院機構 九州がんセンター 小児・思春期腫瘍科 古賀 友紀

一般演題3

11:00~12:00

がん薬物療法 (支持療法なども含む) 症例報告①

座長：公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部 小林 一男  
 北海道がんセンター 梅原 健吾

- O3-1 乳がん治療中に発現した性交痛に対して、専門医療機関連携薬局の薬剤師として相対対応を実施した一例  
 スギ薬局福町店 兼 DI 課 永田 雅史
- O3-2 ゴルベツキシマブ投与2回目に発現した重篤な過敏症の1例  
 SUBARU健康保険組合 太田記念病院 薬剤部 平山 啓朗
- O3-3 イマチニブ服用中の患者のフォローアップを通じて振り返る経口抗がん薬の催吐性リスク及びそこから起こりうる影響について  
 日本調剤株式会社 東北大前薬局 安斎 沙織
- O3-4 ナノリポソーム型イリノテカン投与による重篤な過敏症反応後に支持療法強化と用量調整によって治療継続が可能となった一例  
 北海道大学病院 薬剤部 菅野 亮太
- O3-5 高リスク早期TNBCに対するPembrolizumab併用化学療法 (KEYNOTE-522レジメン) のRDIおよび影響因子の解析：単施設後ろ向き研究  
 国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部 深井 雄太

03-6 ゴルバツキシマブ初回外来導入の取り組み、実際の3症例

日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 安島亜矢子

**ランチョンセミナー (LS1-5)**

12:20~13:20

座長：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター 薬剤部 武井 大輔

もっとうまくいく緩和ケア

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 緩和ケア科 部長 余宮きのみ

共催：株式会社アインホールディングス

**一般演題7**

13:40~14:40

**がん薬物療法（支持療法なども含む）症例報告②**

座長：鹿児島大学病院 寺菌 英之  
株式会社大賀薬局 九大病院東門前店 汐待 加織

07-1 CLDN18.2陽性胃癌を発症したターナー症候群の患者に対し  
mFOLFOX6+Zolbetuximab療法を安全に施行し得た一例

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 薬剤部 堀越 俊彦

07-2 エンホルツマブ ベドチン投与中に薬剤師外来を通じて悪心Grade2を解消  
できた左下部尿管癌の1症例

西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 薬剤部 加藤 麻衣

07-3 抗リウマチ薬を併用した卵巣がん患者に対するベバシズマブ投与中の十二指  
腸穿孔を発症した一例

済生会横浜市東部病院薬剤部 永瀬 怜司

07-4 免疫チェックポイント阻害薬によるサイトカイン放出症候群に対して薬剤師  
が介入し重篤化を回避した1例

東北大学病院 薬剤部 石川 大雅

07-5 腫瘍循環器領域における専門薬剤師の介入がカボザンチニブ関連VTEの早期  
発見に繋がった症例

日本調剤 菅生薬局 磯崎 弘恵

07-6 Amivantamab併用化学療法中に消化管穿孔を来した一症

国立病院機構京都医療センター薬剤部 池上 洋平

## シンポジウム 11

14:50～16:20

がん治療における地域医療連携実践に向けた歩みを通して ～失敗と成功が今後の鍵を握る～

オーガナイザー兼座長：クオール株式会社 薬局事業第三本部 村田 勇人  
株式会社リペリコ 小笠原信敬

S11-1 地域医療連携セミナーの運営とアンケートを通して見えてきたもの

石巻赤十字病院 薬剤部 川田 彰彦

S11-2 「次の診察まで」の不安を「いつでも繋がる」安心へ  
～ePROが繋いだ、病院と薬局の見守りのリレー～

山形済生病院 薬剤部 安部 圭紀

S11-3 「お変わりありませんか？」の挨拶から、一歩先の関わりへ  
～患者の“今日の体調”から始まる、病院と薬局の新たな連携のかたち～

薬樹薬局 ミツ沢 田橋 美佳

S11-4 がん治療における地域医療連携の臨床研究から見える今後の課題

東京薬科大学 薬学部 臨床評価学教室 藤宮 龍祥

S11-5 地域オンコロジー支援プロジェクトを通じた地域医療連携の現状と未来

国立がん研究センター東病院 薬剤部/  
日本臨床腫瘍薬学会 地域医療連携委員会 川澄 賢司

## 第6会場 (福岡国際会議場4階 413+414)

### シンポジウム5

9:00~10:30

「がん治療薬学生エキスパート」の発足と薬学部生へのがん薬物療法の教育の現状

オーガナイザー兼座長：福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室 松尾 宏一  
座長：東京薬科大学薬学部 川口 崇

- S5-1 がん治療薬学生エキスパート認定制度の概要  
福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室 松尾 宏一
- S5-2 がん薬物療法に関する薬学教育  
福岡大学薬学部 林 稔展
- S5-3 病院薬剤師によるがん薬物療法教育の実践 — 薬学生支援の現状と展望  
がん研究会有明病院 薬剤部 瀧口 友美
- S5-4 がん治療薬学生エキスパート (PSECC) の取得①  
東京薬科大学 薬学部 奈良碧斗瑞
- S5-5 がん治療薬学生エキスパート (PSECC) の取得②  
福岡大学薬学部 末松 里菜

### 一般演題4

11:00~12:00

病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療①

座長：自治医科大学附属病院 中澤 寛仁  
草加市立病院 薬剤部 伊藤 剛貴

- 4-1 日本臨床腫瘍薬学会 ICI マネジメント教育プログラム「Bridgeセミナー」成果報告 ～参加者アンケート調査より～  
新潟県立津川病院 薬剤部 /  
日本臨床腫瘍薬学会免疫チェックポイント阻害薬マネジメント  
教育プログラム開発ワーキンググループ 吉野 真樹
- 4-2 電子的患者報告アウトカム (ePRO) を用いた薬薬連携によるがん患者支援：  
PHARE-ONC 02 RT Study  
埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 高山 俊輔
- 4-3 診察前面談に対する患者の満足度調査  
益田赤十字病院 薬剤部 吉田 勝好
- 4-4 連携充実加算の取組みについて  
大分県立病院 外来化学療法室 山田 剛

- 4-5 保険薬剤師の病院出向によるがん患者指導への効果

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 吉田 弘樹

- 4-6 外来がん薬物療法におけるトレーシングレポートの運用体制と薬学的介入の評価

恩賜財団済生会横浜市東部病院 香取 史菜

## ランチョンセミナー (LS1-6)

12:20～13:20

### Cross talk セミナー

みんなで語るがん薬剤師外来を立ち上げて継続している理由

～嬉しかったことも苦しかったことも共有します～

座長：公益財団法人 がん研究会有明病院 薬剤部 調剤室長 川上 和宜

東京薬科大学薬学部 医療薬学科 臨床薬理学教室 准教授 横川 貴志

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 技術長補佐 葉山 達也

自治医科大学附属病院 薬剤部 (臨床腫瘍部・がんゲノム医療部兼務) 主任薬剤師 奥田 泰考

一般財団法人 神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部 副主任 小澤 有輝

共催：株式会社スズケン

## 一般演題8

13:40～14:40

### 病診薬 (薬薬) 連携・チーム医療② / 地域・在宅医療

座長：国立がん研究センター東病院 岩本 義弘

株式会社ナカジマ薬局 鈴木 直哉

- 8-1 がん日常診療におけるPHRアプリによる症状管理とモニタリングのためのレジストリー研究

竹田綜合病院 薬剤科 木本 真司

- 8-2 薬剤師による外来診察同席業務の臨床的意義の検討

国立がん研究センター東病院 薬剤部 加藤 紘大

- 8-3 がん化学療法における診察同席による処方支援の現状

宮崎県済生会日向病院 坂口 哲隆

- 8-4 外来化学療法患者に対する連携充実加算導入後のトレーシングレポートの経時的内容の変化についての解析

JA秋田厚生連 由利組合綜合病院 薬剤科 大野謙太郎

- 8-5 医師・看護師を対象とした、がん化学療法トレーシングレポート活用に関する意識調査

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 中村 久美

- 8-6 専門医療機関連携薬局としての役割 -当薬局の取り組み-

日本調剤株式会社 日本調剤名大前薬局 鈴木 大介

## シンポジウム12

14:50～16:20

### 一歩進んだOnco-Cardiologyへ～多職種で心臓を守り、がん治療に繋ぐ～

オーガナイザー兼座長：小倉医療センター 薬剤部 牧 陽介  
KKR札幌医療センター 薬剤科 玉木 慎也

- S12-1 Onco-Cardiologyの今、そして薬剤師の役割

公益財団法人大阪府保健医療財団 大阪がん循環器病予防センター 向井 幹夫

- S12-2 ONE TEAMで支えるがん治療  
～CTRCDの早期発見・早期介入への取り組み～

国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部 樋口 文子

- S12-3 Onco-cardiologyにおける薬局薬剤師の役割

株式会社なの花薬局 北大店 竹内 進

第7会場 (福岡国際会議場4階 404 + 405 + 406)

フレッシュアーズ演題 (優秀演題候補セッション)

9:00~9:50

座長：東京薬科大学薬学部 医療薬学科 臨床薬理学教室 横川 貴志  
福岡大学薬学部 腫瘍・感染症薬学研究室 内山 将伸

- AF-1 オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対するグルコース・ナトリウム共輸送体2阻害薬の影響  
東京薬科大学 薬学部 臨床薬理学教室 蓮見 雅哉
- AF-2 大腸癌術後補助化学療法における有害反応発現の予測指標に関する検討—治療開始時のPNI値について—  
国立病院機構別府医療センター 薬剤部 嘉村 有紗
- AF-3 エンホルツマブ ベドチン誘発性有害事象に対するデキサメタゾンとグラニセトロン前投薬の比較：多機関共同後方視的観察研究  
聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 平野愛耶美
- AF-4 電子カルテの医療テキストを用いたL型カルシウムチャネル拮抗薬のオキサリプラチン誘発性末梢神経障害に対する予防効果の検証  
慶應義塾大学大学院 薬学研究科 牧田 優太
- AF-5 がん診断直後の患者不安と相談ニーズに関する全国調査—病院薬剤師と薬局薬剤師の支援領域の比較と可視化—  
星薬科大学 臨床疫学研究室 鈴木 眞子

一般演題 (優秀演題候補セッション)

10:00~10:50

座長：九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦  
名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 池末 裕明

- AO-1 CBDCAベースレジメンにおけるホスネツピタントとアプレピタントの持続的制吐効果の比較検討-0~168時間の後方視的解析-  
北里大学病院 薬剤部 稲野 寛
- AO-2 カペシタビン誘発性手足症候群と葉酸摂取量の関連調査  
愛知県がんセンター 薬剤部 飯田 優美
- AO-3 G8 screening toolを起点とした包括的高齢者機能評価による高齢大腸がん患者におけるがん薬物療法の個別最適化  
名古屋市立大学病院 薬剤部 /  
名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬理学分野 中村 大学

AO-4 固形癌骨転移患者における骨修飾薬の開始タイミングと骨関連事象の関連性：  
単施設後ろ向き研究

岩手医科大学附属病院 薬剤部 池田 樹生

AO-5 免疫チェックポイント阻害薬誘発性肺障害における Krebs von den  
Lungen-6サーベイランスの有用性

九州大学病院 薬剤部 松金 良祐

## ランチョンセミナー (LS1-7)

12:20～13:20

### 多発性骨髄腫の最新治療と多職種連携

薬剤師がつなぐ多職種・他科連携

座長：国立国際医療センター 薬剤部 副薬剤部長 松井 礼子

変化する多発性骨髄腫診療：最新治療と動向

北九州総合病院 血液内科 部長 塚田 順一

抗がん剤がもたらす眼有害事象の機序と眼科医の意識変化

埼玉医科大学病院 眼科 講師 石川 聖

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

## 職業性薬剤曝露予防を目指す

### CSTD適正使用のための実技研修会

14:50～16:20

職業性薬剤曝露予防のために

国立病院機構 四国がんセンター 青儀 健二郎

実技：大阪プレストクリニック

阿南 節子

国立病院機構 小倉医療センター 薬剤部

衛藤 智章

関西労災病院

櫻井美由紀

## イブニングセミナー (ES1-7)

16:40～17:40

座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 部長 橋本 浩伸

泥まみれの大腸癌薬物療法 ―試験の真相と解釈の深層

愛知県がんセンター 薬物療法部 医長 谷口 浩也

大腸癌薬物治療におけるAEマネジメント～薬剤師の視点から～

住友別子病院 がん薬物療法専任部長/薬剤部 副部長 矢野 琢也

共催：武田薬品工業株式会社

第8会場 (福岡サンパレス 2階 パレスルーム)

シンポジウム6

9:00~10:30

がんゲノム医療をもっと身近に感じるための基礎と臨床のコラボレーション

オーガナイザー：国立病院機構 小倉医療センター 薬剤部 衛藤 智章  
オーガナイザー兼座長：慶應義塾大学病院 薬剤部 櫻井 洋臣  
座長：国立がん研究センター東病院 米村 雅人

- S6-1 がんゲノム医療の基本的知識と薬剤師の役割  
国立病院機構 小倉医療センター 薬剤部 衛藤 智章
- S6-2 がんゲノム医療に携わる病院薬剤師の現状と課題  
～中核拠点病院の立場から～  
国立がん研究センター東病院 薬剤部 佐藤 弘樹
- S6-3 がん遺伝子パネル検査におけるエキスパートパネルの現状と課題  
～拠点・連携病院の立場から～  
宮崎大学医学部附属病院 薬剤部／臨床研究支援センター 治験部門 大野 梨絵
- S6-4 体内動態や遺伝子多型を踏まえた至適な抗がん薬投与方法とがんゲノム医療  
昭和医科大学薬学部 臨床薬学講座 藤田 健一

ランチョンセミナー (LS1-8)

12:20~13:20

子宮頸がん治療におけるチソツマブ ベドチンの実装  
～医師と薬剤師が奏でる副作用マネジメント～

座長：岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 飯原 大稔  
国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 科長 米盛 勸  
国立がん研究センター中央病院 薬剤部 水頭 望  
共催：ジェンマブ株式会社メディカルアフェアーズ本部